

(一九九四)年廃業後は野菜作りとマレットゴルフを趣味として元気に暮らしております。

抑留記

長野県 中村 一 登

長野県伊那市日影に大正十四(一九二五)年十一月二十三日出生。

昭和十八(一九四三)年十二月、上伊那農業学校卒業、国鉄に就職する。

家の仕事は養蚕と水田農業、家族は祖母と父母、兄弟五人でした。

昭和二十年三月徴兵(現役)、大阪へ集合した。そこで軍服に着替え、満州から迎えに来た兵隊の指揮下となる。

部隊にあり外部との接触も全くなく、根こそぎ動員という言葉は聞いたことがなかったが、入隊後、朝鮮からの現役兵が入隊して来たということ

は聞いたことがある。装備については鉄道隊などの内務班全員に歩兵銃二人に一つくらいだった。

ソ連軍侵攻。昭和二十年八月九日朝午前一時ごろ、部隊で就寝中、飛行隊の爆音らしき音を聞き、その後若干時間を過ぎたころ非常召集の命令があり、軍装を大至急整えて営庭に整列した。そこで上官から、ソ連が参戦したによって我が中隊は直ちに準備を整えて北満国境に向かって出動との命令が下された。連隊中我が一二中隊だけが八月十二日、北満国境へ向けて出動の命令があり、本部隊と別れることになった。編成は先頭に機関車、物資輸送の貨車、兵員輸送の貨車編成だけである。

戦闘状況について。列車がハルピンを出て黒龍江省黒河の手前、孫呉の街手前に差しかかったとき、敵機の来襲に機関車はじめ一編成と兵員の壊滅的打撃を受け、前進不能となり、部隊もバラバラとなり、北安まで撤退の命令があり翌朝まで線路伝いに歩き続けた。昼間は外に出るとソ連機に

やられるので満人の家に隠れ、夜になると翌朝まで逃げ、幾日かそんな撤退をして北安にたどり着き、駅舎のような建物に住むようになった。日本軍の敗戦したことがわかり、兵隊が小人数で北安の街を歩き満人に襲われて真つ裸にされ、うつ伏せになって殺されている兵隊を見て、小人数では絶対に外出してはいけないと注意を受けていた。

武装解除。八月二十日、命令でソ連軍を迎えるので全員整列して徒歩、そこへ突然トラックでソ連軍がやって来て、銃、帯剣を外せと言われ武装解除され、捕虜となった。その後の行動はすべてソ連軍の指示によった。武装解除後、北安の格納庫に押し込まれ、ほとんど食事なし。陸軍の倉庫からの乾パン一食分を数人で分けて食べ、外出は銃撃に見舞われ、空腹の極限であった。

九月十四日、日本へ帰すと言われ、北安から黒河まで約十日、四〇〇キロといわれる距離を食料補給なしで行軍をする。その間、体力の弱い人は脱落し非常に悲惨であった。黒河より黒龍江を舟

で渡り、ブラゴエシチェンスクの街より貨車に積み込まれ、家畜並みの扱いで数日間輸送される。トイレは停車時を利用する。それもできないときは進行中でもやらなければならない。

沿線の様子は窓がないのでほとんど見えなかった。ブラゴエシチェンスクよりイズベストコーワヤまでの輸送で、数日で到着、石灰の生産地であった。抑留地はイズベストとクレドールの二カ所だった。

シラミは多く発生、発疹チフスは記憶にない。衣服の滅菌消毒は二十一年になってからだと思う。入浴も同じで一杯の手おけの湯と石けんでした。収容所は千人くらいでした。

労役は伐採、まき切り、鉄道沿線の斜面補修工事、トンネルの穴掘り、建築現場の基礎工事の土掘り、馬小屋勤務（馬を夜放し朝方集める）。鉄道線路に馬が近寄らないよう警戒のため夜勤をした。

作業はノルマーでした。ノルマーを達成しない

と食事が少ない。達成するためにただ一生懸命働くしかなかった。木材の伐採、ハツパの穴掘りで、腹が減って十分働くこともできず悲しい思いで過ごした。体力がオカになって数カ月、身体検査は尻の肉をつまんで診断された。オカは軽作業となった。

衣服は着の身着のまま、支給されるもの以外手に入らないから、休みの間は衣服の修理で一日を過ごした。食事は一回の量が少ないのでいつも空腹で、三年間で米飯は一度も食べたことがない。

スープに少量の野菜と魚肉が若干あるだけ、野のキノコ、ワラビ、野イチゴ等何でも食べた。

家は木造づくりで窓が少なく電気もなかった。

屋根板を燃やして明かりをとった。ペーチカで暖をとる。畳一枚くらの所に一人半ぐらいで寝た。

教育は「日本新聞」により共産党教育をされた。民主化されたような態度をとって、早くダモイに結びつけるように心がけた。

「生きて帰国」の一心で過ごした。タバコの配給品は戦友とパンを交換した。

帰還の時は骨折で入院、ナホトカまでは病院から列車で、病院船「高砂丸」であった。

舞鶴港上陸、昭和二十二年十月二十日。

抑留記

長野県 小平 計治

長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪で出生。

中箕輪村尋常高等小学校高等科卒業、中箕輪青年学校卒業後、農業を手伝う。

昭和十八（一九四三）年八月に徴兵検査にて甲種合格。昭和十九年一月十日に群馬県高崎市三八連隊に入隊。一月二十五日、博多港出航。二十六日、釜山港上陸。二十八日、河北省廊坊に着。北支派遣軍陣第四二八六部隊二五大隊機関銃中隊に転属。新安鎮付近警備に当たりながら、一期の検